

【ヒューマンライツ部関係】

ヒューマンライツ部

2014年度 第18回 ボランティアスピリット賞日本大会（主催：プルデンシャル・ファイナンシャル）
中国・四国ブロック（4団体/621件） **ブロック賞**

*12月26日27日28日に大阪で全国大会（40団体/1831件応募）

【個人】

2D 国清 彩（くにきよ さや）

(1) . 第24回全国読書作文コンクール（主催：全国学習塾協会、後援：朝日新聞社）

***中学生の部 最優秀賞（全国1位）**

タイトル：困っている人から学ぶ意味

（『患者さんが教えてくれたー水俣病と原田正純先生』（フレーベル館）を読み、ハンセン病問題や福島の放射線被害なども重ねて作文を書きました。）

(2) . 第34回全国中学生人権作文コンテスト（主催：法務省・全国人権擁護委員会連合会）

広島県最優秀賞（広島県1位）（現在、全国審査中）

タイトル：寄り添いのあり方 ～お母さんの教え～

（阪神淡路大震災で一人息子さんを失った加藤りつこさんとの交流と広島大規模土砂災害ボランティアなどについて書きました） ***11月末、中国新聞に全文が掲載されます。**

2B 高橋 悠太（たかはし ゆうた）

(1) . 第24回全国読書作文コンクール（主催：全国学習塾協会、後援：朝日新聞社）

***中学生の部 中国・四国地区 特選**

タイトル：「許す」という信念

（『武器より一冊の本をください』（金の星社）を読み、マララさんの生き方や核廃絶を訴え続けてきた被爆者の願いも重ね、自分の考えを書きました。）

(2) . 2014 中国新聞「みんなの新聞コンクール」 /

新聞感想文部門 中学生 **最優秀賞（第1位）**

タイトル：「わからない」からこそ

（マンガ『美味しんぼ』に描写された「鼻血」についての論争を題材に、これまで被爆者の方々から学んできたことを中心に、核被害への考えをまとめました。）

2D 池田 風雅（いけだ ふうが） ***懸垂幕すでにあり**

第24回（2014年度）永井隆平和賞（主催：島根県雲南市） ***中学生部門 最優秀賞（第1位）**

タイトル：平和のとりで

（核廃絶署名活動を中心とした自身の平和活動と最近の社会の動向について書きました）

3B 作原 愛理（はくはら ）

2014 中国新聞「みんなの新聞コンクール」 /

新聞感想文部門 中学生 **中国新聞販売所連合会賞（第4位）**

タイトル：「声を上げる大切さ ～塩村都議は“私”～」

（東京都議会におけるセクハラヤジを題材に、女性の視点から社会を見つめ、相手をおもんばかって自分の思いを伝える手法について学んだことを書きました。）

3A 高橋 和 (たかはし あい)

第54回 国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト (主催：外務省 他)

外務大臣賞 (全国1位)

***2015年春、「奥・井ノ上記念青少年国連視察団」としてNY国際連合本部の視察、国連関係者との懇談等に参加**

テーマ (タイトル)：東日本大震災の経験を踏まえ日本が国連で果たすべき役割

～防災・減災教育の開発を～

4A 橋本 瀬奈 (はしもと せな)

(1) . 第2回「ここからの手紙コンテスト」(主催：広島国際大学・毎日新聞社)

最優秀賞 (全国第1位)

テーマ：「家族」に宛てたここからの手紙

タイトル：お母さん大嫌い！(本当は大好きな母への思いをストレートに表現しました)

(2) . 第12回 高校生福祉文化賞エッセイコンテスト (主催：日本福祉大学・朝日新聞社)

テーマ「社会の中のどうして」部門 **優秀賞 (全国2位)**

タイトル：記録 ～私の使命～ (ハンセン病問題を書きました)

5D 川上 明莉 (かわかみ あかり)

(1) . 第12回 高校生福祉文化賞エッセイコンテスト (主催：日本福祉大学・朝日新聞社)

テーマ「社会の中のどうして」部門 **最優秀賞 (全国1位)**

タイトル：永遠にゼロ

(ベストセラー小説『永遠の0』を批判的視点で述べました)

***11月3日(月)、朝日新聞全国版に全文が掲載されました。**

(2) . 2014 中国新聞 「みんなの新聞コンクール」 / 新聞感想文部門 高校生 **佳作**

タイトル：「聞け、被爆者の声を」

(8月6日広島平和慰霊祭の首相のあいさつを批判的に述べました)